**技術報告 　*TECHNICAL REPORT***

校閲用原稿をエディトリアルマネージャーで提出時にpdf原稿が「原稿種別飾り文字」のデザインが変更されていないか確認する

学名はイタリック

（1行改行，行間固定値18 ポイント）

植生基盤の硬度および…… エゾマツ（*Picea jezoensis* Carr.）の生育

（1行改行，行間固定値18 ポイント）

題目～所属が2行にまたがる場合は，きりの良いところで改行しても構わない

緑化太郎\*1)・緑　花子2)

（1行改行，行間固定値14 ポイント）

1. 日本緑化工科大学大学院農学研究科
2. 東京緑化植物生態研究所

（2行改行，行間固定値14 ポイント）

摘要：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○用紙全体の余白：上35 mm，下30 mm，左右16 mm○○○○「摘要：」や「キーワード：」という見出しはMSゴシック体太字，8.5ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○摘要やキーワード本体は，8.5ポイント，行間固定値12 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○通常号は500字以内，大会号は300字以内，1段落(改行しない)○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○…。

キーワード：植生基盤，土壌硬度，エゾマツ，…　6語以内

（2行改行，行間固定値12 ポイント）

1.　はじめに（行間を2行に設定する）

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○本文：9ポイント，27字×48行×2段組の設定○○○○○○段間4～6 mm○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○全角MS明朝，英数字・記号はCentury○○○○○○○○○句読点は「，」と「。」○○。○○○○○○○○○○○○○本文の括弧は全角○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2.　材料ならびに方法2の後，全角スペース

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2.1　供試吹付材料および供試植物　2.1の後，全角スペース

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2.1.1　供試吹付材料　2.1.1の後，全角スペース

1）主基盤材　1）の全角片括弧の後にスペースは入れない

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（この位置は天でない。図表写真を入れない）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○学名初出は命名者名も入れる○○○○○○○○○○○○○○エゾマツ（*Picea jezoensis* Carr.）○○○○○○○○○○○以降は省略：エゾマツ，または*P. jezoensis* ○○○○○○○生物名：和文はカタカナ○○○○○○○○○○○○○○○○技術報告の場合，学名を全て記載するとページを超過する恐れがあるときには，大会特集号編集委員会の判断により学名を省略してもよい。ただし，慣用名（和名等）により表される種を明確にするために，参照した図鑑を引用すること。引用する図鑑は信頼性の高い冊子体のものとする。

\* 責任著者(Corresponding author)：〒000-0000　○○○○○○○○○○○○○　E-mail：00000@00000000000000

ここは1ページの「フッタ」で印刷エリアではない。ここに責任著者の住所、アドレス、仕切り線を配置しないこと。

責任著者等の情報は、上記の本文の位置に挿入する。校閲用原稿提出時に必ず確認すること。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○数字と単位の間には半角スペースを入れる。○○○○○○○ただし，º，℃，％の場合には直前に半角スペースを入れない○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



図-1　和文表題，MS明朝，8.5ポイント，左詰め（「図-1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして1行目のタイトル行頭に可能な限り合わせて折り返す。）

（図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○図・表・写真の挿入位置：天・地（ページ上・下部分）○○本文中には挿入しない○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○文献引用例○○○1, 3, 4-6)○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○図-1ハイフンあり（図1ではない）○○○○○○○○○○○表-1ハイフンあり（表1ではない）○○○○○○○○○○○写真-1ハイフンあり（写真1ではない）○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○注記は本文中に収めることとし，引用の形をとらない○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

写真-1　和文表題：MS明朝体，8.5ポイント，左詰め（「写真-1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして1行目のタイトル行頭に可能な限り合わせて折り返す。）

（図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。）

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を式1に示す。



　数式はセンタリングし，式番号は括弧書きで右詰めにすること。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（図表と本文の間を1～2行空けて区別を明確にする。）

表-1　和文表題：MS明朝，8.5ポイント，左詰め（「表-1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。表の罫線はは表の上下綴じ以外は最小限とする。複数行にわたる場合は，インデントして1行目の行頭に可能な限り合わせて折り返す。表の罫線は表の上下綴じ以外は最小限とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 個体番号 | 樹高成長量(cm) | 直径成長量(mm) |
| A | 17.9 | 2.3 |
| B | 22.5 | 3.5 |
| C | 31.0 | 3.6 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

（1行改行，行間1行）

謝辞：○○技術報告は投稿時から記載してよい。○○○○○○○○○○「謝辞：」はMSゴシック太字○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

引用文献

1. 中西　哲 (1977) 群落の生活型構造. 伊藤秀三編, 群落の組成と構造, 朝倉書店, pp. 193-251.  
   8.5ポイント，行間固定値12ポイント  
   著者名の1文字目と2行目以降の先頭の文字をできる限り揃える。引用文献の括弧( )、カンマ「,」、ピリオド「.」は本文と異なり半角とする。引用順ではなくアルファベット順であることに注意。
2. 日本緑化工学会編 (1990) 緑化技術用語事典. 山海堂, 280 pp.
3. 大手桂二 (1989) 山腹緑化施工地の評価手法に関する研究. 緑化工技術, 14(1): 12-20.

姓名が共に2文字の場合，姓名間に全角スペースは入れない。

1. Tobias, D. J., Yoshikawa, K., Ikemoto, A. and Yamaguchi, H. (1994) Seasonal changes of leaf chlorophyll content in the crowns of several broad-leaved tree species. J. Jpn. Soc. Reveget. Tech., 20(1): 21-32.
2. 森　亘・山中典和・王　林和・吉川　賢・小笠原慎之介・五郎丸歩 (2000) 中国内蒙古毛烏素沙地における臭柏(*Sabina vulgaris* Ant.)更新場所の微環境, 日本緑化工学会誌, 25: 427-430.

和文姓名が2文字や3文字（姓1文字＋名1文字，姓1文字＋名2文字，姓2文字＋名1文字）の場合は姓名の間に全角スペースを入れる。和文姓名が4文字以上の場合，全角スペースは入れない。

1. 環境省. (更新: 2014年8月1日) “特定外来生物等一覧”. 環境省ホームページ. http://www.env.go.jp/nature/intro/  
   1outline/list/index.html (参照: 2014年8月8日).
2. 気象庁. “過去の気象データ検索”. 気象庁ホームページ. http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php  
   (参照: 2014年8月8日).

（1行改行，行間固定値12ポイント）

(2024年○月○○日受理)

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

受理年月日は，受理を通知された後，完成稿に記入。投稿時は括弧のみ記載。

受理日の下に空白行の挿入や記入は一切しない。

最終ページは左右段の下端を揃える。（下端がきれいに揃わない場合があるため，1行のずれは問題ないこととする。）